

科目名		環境変遷学		英文表記	Geo-environmental Changes		3月20日		
科目コード		6007							
教員名:木村和雄 技術職員名:							修正		
対象学科/専攻コース				学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全学科				専1	選	学修	2単位	講義	後期
科目目標 【MCC目標】		第四紀(人類紀)における地圏環境の変化とその要因を、各種主題図、衛星・航空写真、観測データなどから読解できるようにする。							
総合評価		授業計画に示したテーマごとに予察・分析を行い、その成果を蓄積したレポート(40%)と定期試験(40%)、および受講態度(20%)によって評価する。							
科目達成度目標	目標割合	科目達成度目標	達成度目標の評価方法	ルーブリック					
				理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限必要な到達レベル(可)	セルフチェック		
	80%	① 地圏環境の変化を、主題図、衛星・航空写真、観測データなどから読み取ることができる(A-1)。	予察レポートの内容および期末試験によって評価する。	沖縄島の地形発達過程と地球規模の営力変動とを関連づけて、第四紀環境変遷史を復元出来る。	低地・段丘・地すべり斜面・一般斜面の配置と構造を空間的に認識し、それらの形成順序を推定できる。	沖縄島に分布する地形種のうち、低地・段丘・地すべり斜面・一般斜面を形態的に識別できる。			
20%	② 地圏環境の変化を、簡潔に説明できる程度の知識がある(A-1)。	観察レポートおよび期末試験の内容によって評価する。	沖縄島の自然史とそれに対する人為的な環境変化との関係を把握し、土地利用の問題点を指摘できる。	低地・段丘・地すべり斜面・一般斜面の構成物質の観察から、それらの成因・形成環境を推定できる。	沖縄島に分布する地形種のうち、低地・段丘・地すべり斜面・一般斜面を構成する物質の差異を識別できる。				
本科・専攻科教育目標		1	2	3	4				
		○			○				
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合									
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック		
評価項目		40	0	40	20	100			
基礎的理解	①②	20		20		40			
応用力(実践・専門・融合)	①②	20		20		40			
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)						0			
主体的・継続的学修意欲					20	20			
授業概要、方針、履修上の注意	この授業では地質学、地形学の手法や成果をベースに、最近地質時代の環境変化を学ぶ。特に沖縄島の地圏環境を対象に、その普遍性と特異性に迫る。講義形式を主体とするが、授業計画の通り実習形式の作業も取り入れる。今年度は時間割の制約が大きいため野外観察は実施しない。								
教科書・教材	教員が作成または用意した講義・実習教材、プレゼンテーション資料、および受講生が収集した論文・報告書等								

**授 業 計 画**

週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェック
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8	前期中間試験(行事予定で過変更可)				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
期末	期末試験	[2]			
16	地球史のなかの第四紀	2	授業対象の概念と狙いを説明する。		
17	内的営力の変遷1	2	第四紀に生じた地殻変動と火山活動を学ぶ。		
18	内的営力の変遷2	2	琉球弧の地形・地質に記録された内力変遷を知る		
19	地殻変動の分析	2	空中写真を用いて沖縄島北部の地形を分析する。		
20	外的営力の変遷1	2	地球規模の気候変動とその要因を学ぶ。		
21	外的営力の変遷2	2	氷河性海面変動と古地理変化について知る。		
22	外的営力の変遷3	2	琉球弧の地形・地質に記録された外力変遷を知る		
23	気候変動の分析	2	海底地形図等を用いて沖縄島北部の古地理を分析する。		
24	離水サンゴ礁の典型と非典型	2	沖縄島内の地形の地域差を考える。		
25	海成段丘を消し去るもの	2	沖縄島南東部の巨大地すべり地形群について知る。		
26	地すべりのメカニズム	2	地すべりの発生機構とその要因について学ぶ。		
27	斜面変動の分析	2	空中写真を用いて沖縄島中南部の地形を分析する。		
28	地圏環境の変遷と人類	2	環境変遷に対する人類の影響を評価する。		
29	人為的環境変化の事例	2	国内外における人為的環境変化を把握する。		
30	人為的環境変化を分析する	2	沖縄島における人為的環境変化を把握する。		
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		30	実時間		22.5
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間	
①	レポート作成			各6時間×5回	
②	資料読解			各6時間×7回	
③					
<b>備考欄</b>					
(各科目個別記述) ・この科目の主たる関連科目は地理学概論(3年)、地球科学(4年)である					